

第 73 回

中国高等学校選手権水泳競技大会

令和7年度 全国高等学校総合体育大会

兼

中国予選会

第93回 日本高等学校選手権水泳競技大会

実 施 要 項

主 催 中国高等学校体育連盟 (公財)全国高等学校体育連盟 (公財)日本水泳連盟
鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校体育連盟
山口県教育委員会 山口県高等学校体育連盟

後 援 (公財)鳥取県スポーツ協会 米子市教育委員会
(公財)山口県スポーツ協会 山口市教育委員会

主 管 中国高等学校体育連盟水泳専門部
鳥取県高等学校体育連盟水泳専門部 (一財)鳥取県水泳連盟
山口県高等学校体育連盟水泳専門部 (一財)山口県水泳連盟

1 期 日 ・競泳 7月18日(金)・19日(土)・20日(日)
・飛込 7月19日(土)・20日(日)
・水球 7月11日(金)・12日(土)・13日(日)

2 会 場 競泳・飛込 鳥取県営東山水泳場
〒683-0031 鳥取県米子市東山町92番地 Tel0859-34-0126
水球 山口きらら博記念公園水泳プール
〒754-1277 山口県山口市阿知須10509-50 Tel0836-65-6905

3 競技規則 2025年度(公財)日本水泳連盟規約(競技規則)による

4 競技種目

種 目		男 子	女 子
競 泳	自由形	50m 100m 200m 400m 1500m	50m 100m 200m 400m 800m
	背泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	平泳ぎ	100m 200m	100m 200m
	バタフライ	100m 200m	100m 200m
	個人メドレー	200m 400m	200m 400m
	フリーリレー	4×100m 4×200m	4×100m 4×200m
	メドレーリレー	4×100m	4×100m
飛 込	3m飛板飛込	10 演技種目 ※制限選択飛 各群より5演技種目 (難易率合計 9.5 以内) ※自由選択飛 各群より5演技種目	9演技種目 ※制限選択飛 各群より5演技種目 (難易率合計 9.5 以内) ※自由選択飛 異群より4演技種目
	高飛込	9演技種目 (6つの群より選択) ※制限選択飛 異群より4演技種目 (難易率合計 7.6 以内) ※自由選択飛 異群より5演技種目	8演技種目 (5つの群より選択) ※制限選択飛 異群より4演技種目 (難易率合計 7.6 以内) ※自由選択飛 異群より4演技種目
	※参加選手 16 名以上の競技種目は予選を行う。		
水 球	予選リーグ、決勝トーナメント、順位決定戦を行う。 ただしチーム数により変更する場合がある。 グループ分けは、前年度優勝校をAブロックに、前年度準優勝校をBブロックに分けシードする。 残りはフリー抽選とする。		

5 競技順序

(1) 競泳(開会式 9:30 競技開始 第1日 10:00 第2日 9:30 第3日 9:30)

第1日 7月18日(金) 開門 8:00

1	女子 200mバタフライ	予選	13	女子 200mバタフライ	決勝
2	男子 200mバタフライ	予選	14	男子 200mバタフライ	決勝
3	女子 50m自由形	予選	15	女子 50m自由形	決勝
4	男子 50m自由形	予選	16	男子 50m自由形	決勝
5	女子 400m個人メドレー	予選	17	女子 400m個人メドレー	決勝
6	男子 400m個人メドレー	予選	18	男子 400m個人メドレー	決勝
7	女子 400m自由形	予選	19	女子 400m自由形	決勝
8	男子 400m自由形	予選	20	男子 400m自由形	決勝
9	女子 200m平泳ぎ	予選	21	女子 200m平泳ぎ	決勝
10	男子 200m平泳ぎ	予選	22	男子 200m平泳ぎ	決勝
11	女子 4×100mフリーリレー	予選	23	女子 4×100mフリーリレー	決勝
12	男子 4×100mフリーリレー	予選	24	男子 4×100mフリーリレー	決勝

第2日 7月19日(土) 開門 8:00

25	女子 800m自由形	予選	39	女子 200m背泳ぎ	決勝
26	男子 1500m自由形	予選	40	男子 200m背泳ぎ	決勝
27	女子 200m背泳ぎ	予選	41	女子 100mバタフライ	決勝
28	男子 200m背泳ぎ	予選	42	男子 100mバタフライ	決勝
29	女子 100mバタフライ	予選	43	女子 200m個人メドレー	決勝
30	男子 100mバタフライ	予選	44	男子 200m個人メドレー	決勝
31	女子 200m個人メドレー	予選	45	女子 200m自由形	決勝
32	男子 200m個人メドレー	予選	46	男子 200m自由形	決勝
33	女子 200m自由形	予選	47	女子 100m平泳ぎ	決勝
34	男子 200m自由形	予選	48	男子 100m平泳ぎ	決勝
35	女子 100m平泳ぎ	予選	49	女子 4×100メドレーリレー	決勝
36	男子 100m平泳ぎ	予選	50	男子 4×100メドレーリレー	決勝
37	女子 4×100mメドレーリレー	予選			
38	男子 4×100mメドレーリレー	予選			

第3日 7月20日(日) 開門 8:00

51	女子 100m背泳ぎ	予選	57	女子 800m自由形	決勝
52	男子 100m背泳ぎ	予選	58	男子 1500m自由形	決勝
53	女子 100m自由形	予選	59	女子 100m背泳ぎ	決勝
54	男子 100m自由形	予選	60	男子 100m背泳ぎ	決勝
55	女子 4×200mフリーリレー	予選	61	女子 100m自由形	決勝
56	男子 4×200mフリーリレー	予選	62	男子 100m自由形	決勝
			63	女子 4×200mフリーリレー	決勝
			64	男子 4×200mフリーリレー	決勝

閉会式

(2) 飛込

7月19日(土) 開会式 12:00 競技開始 13:00 男女 飛板飛込

20日(日) 競技開始 9:30 男女 高飛込

競技の進行は監督会議で決定する。

(3) 水球

7月11日(金) 開会式 9:00 競技開始 9:30

11日(金)・12日(土)・13日(日)の競技開始・運営に関する詳細は監督会議で決定する。

6 参加資格

- ① 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。
- ② 選手は、各県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技専門部に登録し、2025年度(公財)日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。
- ③ア 平成18年4月2日以降生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技の参加を認める。(出場とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。)
イ 特例として、この③のアに定める年齢制限について、中国等帰国生徒については適用しない。
- ④ チーム編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- ⑤ 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- ⑥ 転校・転籍後1年未満のものは、同一競技への参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、各県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- ⑦ 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- ⑧ 参加資格の特例
ア 上記①②に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、中国各県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。
イ 上記③アのただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。

『大会参加資格の別途に定める規定』

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、中国各県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
ア (公財)全国高等学校体育連盟、中国各県高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限ともに、高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
ウ 各種学校にあつては、中国各県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、中国大会、全国大会への出場条件が満たされていること。
エ 各種学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項、及び中国大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

⑨ (競泳)

イ フリーリレーは、出場資格を得たメンバーを含め6名(補欠2名)まで、メドレーリレーは8名(補欠4名)まで申し込むことができる。ただし、競技の際は個人種目または他のリレーに出場する者に交代させることができる。

⑪（水球）水球は、各地域の規定に従い、各県（公財）日本水泳連盟加盟団体の推薦による。

(1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。

(3) 水球は、1チーム監督1名、引率責任者1名、選手15名(試合の参加制限は13名以内)とする。

- (注) ◎同一学校で競泳・飛込・水球に申し込む場合は別々の参加申込み用紙に記入すること。
 ◎競泳のタイムは県大会決勝タイム(8位表と同じ)を記入すること。
 ◎申込書類をPDFでメール、もしくは封書で送付すること。
 ただし封書の場合は、表に『中国大会水泳申込書』と朱書すること。(レターパックも可)
 ◎水球は各チーム帯同審判を派遣する。※派遣できない場合は1日2万円の運営費を徴収する。
 (運営費は近県等からの審判の派遣補助金とする。)

送付先アドレス honda_nr2@g.torikyo.ed.jp

送信時に必ずパスワードを設定し、送信してください。

◎ パスワード:「tottori2025」

(2) 大会負担金

競泳・飛込は1人…2,500円、水球は1チーム…25,000円

プログラム代金 …1,200円(全員購入)

※プログラムの無料配付はありません。

競泳・飛込は選手全員、水球は1校1冊購入してください。

(3) 申込み先

競 泳

〒680-0061 鳥取市立川町5丁目210
 鳥取県立鳥取東高等学校 気付
 第73回中国高等学校選手権水泳(競泳)競技大会事務局
 本田 義志 宛
 TEL 0857-22-8495 FAX 0857-22-8497

飛 込

〒680-0061 鳥取市立川町5丁目210
 鳥取県立鳥取東高等学校 気付
 第73回中国高等学校選手権水泳(飛込)競技大会事務局
 本田 義志 宛
 TEL 0857-22-8495 FAX 0857-22-8497

水 球

〒753-0851 山口県山口市黒川 2580-1
 山口県立西京高等学校 気付
 第73回中国高等学校選手権水泳(水球)競技大会事務局
 木村 真弥 宛
 TEL 083-923-8508 FAX 083-932-0721

※「参加申込書」と「振込明細票のコピー」は、郵送で送付すること。

振込用紙の振込人名義の欄には、各県水泳連盟団体登録番号(5ケタ)のあとに「キョウエイ」「トビコム」「スベキョウ」のいずれかを入力し、そのあとに学校名を入力すること

※大会参加料・プログラム代金振込先

(銀行振込 競泳・飛込 共通)

「【銀行.】鳥取銀行 【支店】湖山支店 【口座】普通0141046

鳥取県高体連水泳専門部 木下和成 トトリケンコウタイレンスイエイセンモンブ キノシタカズナリ

(水球)

【銀行】西京銀行 【支店】南岩国支店 【口座】普通 2023425

水泳専門部 委員長 村田浩二 スイエイセンモンブ イインチョウ ムラタ コウジ

(4) 申込み締切り

ア 競 泳 7月 2 日(水) 必着(7/1(火)までに Web-SWMSYS 入力完了)

飛 込 7月 2 日(水) 必着

水 球 6月20日(金) 必着

(準備の都合上、各県予選会が終了しだい申し込むこと。)

イ 飛込演技種目申込手続きについて

飛込競技参加者は、規定の飛込演技ダイビングシートならびに計算用紙に、自分で行おうとする飛込演技種目の番号・名称・型・飛板または台の高さ・難易率を記入する。それぞれの該当競技の申込締切りは 20 日(土)の競技については当日の 11 時までとし、21 日(日)の競技についても 20 日(土)の 12 時より 15 時までの間に、飛込みプールサイドの『ダイビングシート入れ』の箱の中に投函すること。

10 競技方法

学校対抗とし、選手権校の決定方法は、以下による。

(1) 競泳

競技は予選・決勝とも9レーンとする。

個人種目は、1位8点、2位7点…8位1点とし、リレー種目は、1位 16 点、2位 14 点…8位2点とする。

同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じときは、次の順に従って順位を決定する。

ア リレー種目による得点の多い学校

イ 各種目の入賞者の多い学校(ただし、リレー種目は4と計算する。)

ウ 1位の数

エ 2位の数(以下8位までこれにならう。)

(2) 飛込

各種目とも、1位8点、2位7点…8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。ただし、総合得点と同じときは、次の順に従って順位を決定する。

ア 入賞者の多い学校

イ 1位の数

ウ 2位の数(以下8位までこれにならう。)

エ 当該入賞者の得点の平均値が高い者(得点平均値は、演技数で割り少数第3位を四捨五入する。)

オ 当該入賞者の得点のうちで1種目について、最も高い数値を得た者

(3) 水球

【予選リーグ】

7分×4ピリオドとし、4ピリオド終了後、引き分けの場合はPSOを行う。

タイムアウトは1試合で2回とする。

勝ち点制とし、4Pでの勝者に3点、敗者に0点、引き分けの場合は4P終了後PSOを実施し勝者に2点、敗者に1点を与え、合計勝ち点の多いチームを上位とする。なお、棄権の場合は、そのリーグの最下位とする。勝ち点が同点の場合は、次の方式で順位を決定する。当該チーム同士の、①対戦成績 ②得失点差次に対象チーム以外の最高順位チームとの、③得失点差 ④総得点 それでも順位が決定しない場合は次順位のチームに対する、⑤得失点差 ⑥総得点 それでも順位が決定しない場合は、再度⑦PSOで順位を決定する。

※但し、3チーム以上が同勝ち点になった場合、対象チームが2チームに減った時点で①に戻り順位を決定する。※得失点差、得点で順位が決定しない場合、上位1チームのみ順位を確定し、残りチームは①に戻り順位を決定する。※勝ち点が2組以上で同点チームのある場合は、上位の組から順位を決定する。もし、

順位を決定できない場合は、リーグ全体結果を順位決定に用いる。

また、予選リーグはコールド制を適用する。

【決勝トーナメント】

8分×4ピリオドとし、4ピリオド終了後、引き分けの場合はPSOを行う。

タイムアウトは1試合で2回とする。

【順位決定戦】

5位以下の順位決定戦は7分×4ピリオドとし、4ピリオド終了後、引き分けの場合はPSOを行う。

タイムアウトは1試合で2回とする。

11 表彰

(1)個人種目は、各種目上位3位まで表彰し、8位まで賞状を授与する。総合は8位まで表彰する。前年度優勝校は優勝トロフィーを必ず持参し、開会式で返還すること。

(2)前年度の各種目における優勝校にはレプリカを授与する。

12 宿泊

(1)選手・監督及び引率責任者等(参加申込書に記された者及び若干名のマネージャー)の宿泊は、配宿事務局を通じて申し込まなければならない。

(2)別冊の宿泊要項を参照のこと。

13 監督者会議

	日 時	会 場	参 加 者
競 泳	7 月 17 日(木) 17:00より	米子コンベンションセンター	参加校監督1名
飛 込	7 月 19 日(土) 12:00より	県営東山水泳場飛込プール	参加校監督1名
水 球	7月10日(木) 16:00 より	山口きらら博記念公園水泳プール トレーニングルーム	参加校監督1名

14 代表者会議

日 時 7月18日(金) 19:30

会 場 監督者会議にて連絡する。

参加者 各県代表者 3名以内 (高体連水泳専門部より)

15 組み合わせ抽選会議(水球)

日 時 6月23日(月) 20:00

会 場 オンラインで実施(実施方法は各監督に連絡)

参加者 各校監督(代理の場合は委任状を提出すること)

16 公式練習の日程及び会場

(1)競泳

競 技 会 用 プ ー ル
(50m プール)

17日(木) 13:00~16:30

18日(金) 8:00~ 9:15/競技終了~18:00

19日(土) 8:00~ 9:15/競技終了~18:00

20日(日) 8:00~ 9:15

練 習 用 プ ー ル
(25m 屋内プール)

13:00~16:30

8:00~18:00

8:00~18:00

8:00~閉会式開始まで

(2) 飛込

19日(土) 8:00~開会式、競技開始 10 分前まで

20日(日) 8:00~競技開始 10 分前まで

(3) 水球

10 日(木) 13:00~16:00 山口きらら博記念公園水泳プール

11 日(金)~13 日(日) 8:00~試合開始 15 分前まで 山口きらら博記念公園水泳プール

17 全国大会への参加資格

(1) 競 泳

ア 地域大会において、各決勝種目3位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選・決勝を問わず、全国大会標準記録を突破した者、またはチーム。(同タイムも含む。)

『特例』各都道府県より全国大会出場資格者を、最低男女1名ずつを1種目までの推薦を認める。

条件 a 地域大会において、全国大会に出場資格を得なかった都道府県は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの 100m・200m のレース、及び 200m 個人メドレー・自由形の 50m のレースで地域大会において、全国大会標準記録に最も近い記録のものとする。

b 出場資格者が男女にまたがっていない場合は、欠けている方について1名。

(例) 出場資格者 男子のみの場合 女子1名

出場資格者 女子のみの場合 男子1名

注意 ①フリーリレー・メドレーリレーは、地域大会において出場資格を得たメンバーのみとする。ただし、補欠については各1名認める。

②途中時間や、リレー種目の第一泳者の正式時間の記録では、標準記録と認めない。(個人種目は、必ずフラットレースで標準記録を突破しなければならない)

③決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

④県大会の記録で出場することは認めない。

『全国大会特別出場措置』

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、決勝会に出場することが出来ない場合は、決勝会への出場を免除する。ただし、その理由書を都道府県委員長に提出すること。届け出者は当該学校長とする。

このことに関する出場措置は、次のように行う。

① 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで+派遣選手とする。

② 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰り上げを行い、地域の出場者を3名とする。

(注) 各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中に含めなければならない。

標準記録（2025年度適用）★は改定記録

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50m	24.09
	100m	★ 52.32
	200m	★ 1:53.94
	400m	4:03.27
	800m	9:11.13
	1500m	16:14.25
背 泳 ぎ	100m	★ 58.64
	200m	★ 2:07.94
平 泳 ぎ	100m	1:04.42
	200m	2:19.22
バタフライ	100m	56.03
	200m	2:04.05
個人メドレー	200m	★ 2:07.41
	400m	4:33.44
フリーリレー	4×100m	★ 3:35.47
	4×200m	7:52.81
メドレーリレー	4×100m	★ 3:56.48

(2) 飛込

ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者

イ 地域大会において、下記の標準点数を突破した者（同点可）

種 目	男 子	女 子
3m飛板飛込	10演技 293.00	9演技 256.00
高 飛 込	9演技 259.00	8演技 231.00

(3) 水球

ア 上位2チームまで。

イ 上位2チームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として1チームを加えることができる。

注意 ① 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

② 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会順位が地域枠の次の順位のチームを繰り上げ、地域枠+1チームとする。

18 連絡事項

(1) 競技中の病気、負傷などの応急処置は主催者側において行いますが、その他の責任は負いません。

なお、参加者は健康保険証を必ず持参してください。

(2) 出場者は、必ず引率責任者によって引率され、引率責任者はその選手の行動に対して全責任を負うものとします。

(3) 競泳競技の派遣審判員は各県6名、飛込競技の派遣審判員は各県1名派遣をお願いいたします。

(4) 個人情報については大会運営に必要な事項のみ公開します。関係機関には記録の報告、報道機関には記録の提供をします。